

ると云、夏物なり

〔日本釋名鳥中秧鷄〕 くいの反はき也、なは鳴也、きなく也、人のやどに來りなく鳥也、くいのた、くなど云も、人のかどに來りなく也。

〔東雅禽鳥〕 水鷄 クヒナ ○ 中 クヒナの義并に詳ならず、或人の説にクヒナは秧鷄、居田澤畔、夏至を過ぎて、夜鳴達旦といふ者、クイはキといふ音にて、クヒナの註となせしは食蟲の義に取れるなり、東壁本草に註せし秧雞の如きは、此にいふ雞は此に似たる事は似たれど、舜水朱氏は、秧

クヒナにはあらずと云ひけり、

〔本朝食鑑五水禽〕 龜鳥 比奈久

龜鳥似計里鳥、而頭背翅有蒼黑斑、帶淡黃赤色、眼上有白條、嘴蒼而長細、領白頸內胸間白有黑小斑、尾短脛長而青、夜鳴達旦而息、其聲如人之敲戶、故歌人詠之成趣、每宿水邊告晨、故有水雞之名乎、又俗稱緋水雞、夏末多在田澤溪川之間、人未常食、仍不知氣味、或曰、味美而有臊、亦未試之、一種有鼠電鳥者、色相似而有黑斑、見人則竄岸塘之窟、如鼠之逃竄、故名之乎、又形小如雀、色稍蒼灰、呼稱雀水雞、又形大似鶴者、稱大水雞、三種俱無敲戶之聲、

肉氣味甘溫無毒、主治鼠瘻痔漏、

〔大和本草十五水鳥〕 秧鷄 小ヲ黒鳥ト云、クヒナトハ大ナルヲ云、大小共ニワタリ鳥ナリ、目足赤シ、雞ニ似タリ、故ニ日本紀皇極紀ニ、水雞ヲ俱比那ト訓ズ、クヒナノタ、クハ黒鳥ナリ、夜ナキテ其聲人ノ戸ヲタ、クガ如シ、歌人詠之、是黒鳥ナリ、夏初ヨリ秋初マデ居此地、夏間ヤブノ内ニスクフ、鼠グイナ、小也、黒斑アリ、人ヲ見テヨク隠ル故ニ名ヅク、ツルグヒナハ形鶴ニ似タリ、鼠グイナニモ似タリ、黒鳥ヨリ大也、夏秋不居、本草時珍秧雞、集解所謂鶴ハクロドリカ、色褐トアリ、地ニヨリ色ハカハレルニヤ、

〔重修本草綱目啓蒙三十二禽鳥〕 秧鷄 クヒナ ナマスドリ仙臺 カ子ウチドリ同上 カ子タヨキ